東近江の盗難HD放置車両から発見

滋賀県警

滋賀県東近江市や岐阜県可児、関市など四市分計約九十万件の土地所有者の個人情報が入った外付け携帯ハードディスク（HD）が車上狙いに遭った事件で、滋賀県警東近江署は十八日、放置された盗難車からHDが見つかったと発表した。

調べでは、HDは四市から土地情報のデータ処理を委託された航空測量会社（東京都）の男性社員が六月二十六日に東近江市内で社用車に置いていた際、車上狙いに遭って盗まれた。

8.7.19 中日

盗難車からHD

近江の流出情報

無職男を指名手配

東近江市などが民間業者に渡していた個人情報の入ったハードディスク（HD）が盗まれた事件で、東近江署は18日、同市内に放置されていた盗難車内からHDが見つかったと発表した。業者が確認したところ、HDに記録した情報が閲覧された形跡はなく、市は「外部への流出はなかった」と判断している。

同署は住所不定、無職の男(27)を車の窃盗容疑で全国に指名手配。行方を追うとともに、HDとの関連を調べる。

東近江市などによると、同市や兵庫県加東市などは航空測量会社「朝日航洋」（東京都豊島区）に固定資産税算定に関する業務を委託。HDには、延べ約20万1000人分の氏名や住所のほか、土地や家屋計約93万7000件のデータが入っていた。

同社社員が6月26日、東近江市内の立体駐車場に社有車を止め、昼食に出かけたすきに、HD入りのかばんを盗まれた。翌27日、同市内の別の駐車場で、窃盗の被害届が出ていた乗用車を同署員が発見。HDが後部座席に置かれていた。

東近江市分の個人情報は延べ約4万5000人分で、事件後、約150件の苦情が市に寄せられていた。奥川正己・同市資産税課長は「2次被害がなく、ほっとしている。業者には厳重な情報管理を改めて求めたい」と話した。

8.7.19 京都

盗難のHD駐車場で発見

東近江、土地情報記録

六月二十六日に東近江市内の駐車場で、同市などの土地情報約九十万件が入った外付けハードディスク（HD）が盗まれた事件で、東近江署は十八日、同市内に放置された盗難車からこのハードディスクが見つかった、と発表した。同署は乗用車を盗んだ疑いで、住所不定、無職の男(三七)を指名手配し、行方を追っている。

東近江署によると、六月二十七日午後六時ごろ、同署員が同市春日町の書店駐車場で、二十三日に同市内で盗難に遭った乗用車を発見した。車内にあった約五十点の遺留品を調べたところ、七月上旬になって、盗まれたハードディスクが含まれていることが分かったという。ハードディスクには、東近江市内の土地を所有する約四万五千人分の名前と住所、約二十八万件の土地の間口などの情報が入っていた。東近江市によると、データをコピーした形跡はなかったという。

東近江署は「男が管内にいるとの情報があり、捜査に支障が出ると判断し、発表を控えていた」としている。

名誉棄損訴訟で東近江市が控訴

滋賀県の旧五個荘町（現東近江市）の町議会で、当時の町長に名誉を傷つけられる発言をされたとして、同市の土木建築会社と社長が市や元町長らに損害賠償を求めた訴訟で、同市は十八日、同市に対し、同社と社長に十万円ずつの支払いを命じた大津地裁判決を不服として、大阪高裁に控訴した。